

革新的がん医療実用化研究事業 令和2年度 事後評価実施課題一覧

No.	開始年度	終了年度	研究代表者	所属機関	研究開発課題名
領域1 がんの本体解明に関する研究					
1	H30	R2	石川 俊平	東京大学	国内がんゲノム医療の均てん化に資するゲノム病理情報の学習と検証
2	H30	R2	岩間 厚志	東京大学	骨髄異形成症候群の最適医療に有用な転写ネットワークバイオマーカーの同定と臨床的有用性の検証
3	H30	R2	河野 隆志	国立がん研究センター	全ゲノムクリニカルシーケンスを志向したAYA世代がん胚細胞系列ゲノム構造変化の解析
4	H30	R2	増富 健吉	国立がん研究センター	TERT関連バイオマーカーによる疾患横断的(バスケット型)診断法の確立に関する研究
5	H30	R2	木田 泰之	産業技術総合研究所	防御シールドを形成し、免疫監視を回避するがん微小環境の理解と医療シーズへの展開
6	H30	R2	土屋 直人	国立がん研究センター	細胞外miRNAとCMTM6 - PD-L1ネットワークを標的とした革新的肉腫核酸治療の構築
7	H30	R2	樋田 京子	北海道大学	腫瘍血管・がん微小環境のネットワークの解明と新規血管新生阻害療法の開発
8	H30	R2	安永 正浩	国立がん研究センター	がん微小環境を標的にした革新的治療法創出のための新しい1細胞機能解析プロファイリングシステムの開発
9	H30	R2	古屋 淳史	国立がん研究センター	網羅的遺伝子異常解析に基づいたNK細胞腫瘍の病態解明および新規標的分子の同定
10	H30	R2	坂田(柳元) 麻実子	筑波大学	ゲノム異常のある微小環境細胞による抗腫瘍免疫応答を標的とする治療戦略
11	H30	R2	田久保 圭誉	国立国際医療研究センター	幹細胞活性を持つCML微小残存病変の特性解明と高感度検出法開発
12	H30	R2	中村 能章	国立がん研究センター	血液循環腫瘍DNA解析を活用した切除不能・進行再発大腸がんにおけるがんゲノム異常のClonal Evolutionに関する網羅的カタログの作成
領域2 がんの予防法や早期発見手法に関する研究					
1	H30	R2	佐川 元保	東北医科薬科大学	低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究
2	H30	R2	川名 敬	日本大学 医学部附属板橋病院	子宮頸癌予防のためのリスク低減を目的としたヒトパピローマウイルス(HPV)標的粘膜免疫療法の医師主導治験
領域3 アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究					
1	H30	R2	小川 誠司	京都大学	難治性リンパ腫に対するMALT1阻害剤の開発
2	H30	R2	間世田 英明	産業技術総合研究所	アンメットメディカルニーズへの迅速対応を可能にする遺伝子治療法に関する研究
3	H30	R2	松本 慎吾	国立がん研究センター	未来のがん診療に資する革新的技術を導入したバイオマーカー測定の有用性を評価する大規模前向き観察研究
4	H30	R2	宮原 慶裕	三重大学	T細胞レセプター疑似抗体及びGITR細胞内ドメインを利用した革新的CAR-T細胞輸注療法の開発
5	H30	R2	柳生 茂希	京都府立医科大学	EPHB4受容体陽性悪性軟部腫瘍を標的とした非ウイルス遺伝子改変キメラ抗原受容体T細胞療法の非臨床試験口
6	H30	R2	鷲山 幸信	福島県立医科大学	アルファ線放出核種内用療法による難治がん治療薬の開発
7	H30	R2	小賤 健一郎	鹿児島大学	独自開発の革新的な増殖制御型アデノウイルスの肉腫への承認申請を目指した医師主導治験
8	H30	R2	藤堂 具紀	東京大学	革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究
9	H30	R2	仲 哲治	高知大学	悪性胸膜中皮腫に対するAdSOCS3を用いた新規遺伝子治療の医師主導治験に関する研究
10	H30	R2	張替 秀郎	東北大学	慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験
11	H30	R2	小川 千登世	国立がん研究センター	難治急性リンパ性白血病に対するボルテゾミブ追加多剤併用療法の医師主導第II相治験
12	H30	R2	原 純一	大阪市民病院機構 大阪市立総医療センター	難治性神経芽腫に対する分化誘導療法併用下でのエピジェネティック治療開発
13	H30	R2	松島 綱治	東京理科大学	胃がん患者を対象としたがん会合性マクロファージ制御剤Disulfiramと抗PD-1抗体の併用臨床研究
14	H30	R2	矢野 聖二	金沢大学	RET肺がんに対するアレクチニブの医師主導治験と耐性機構解析
15	H30	R2	仁保 誠治	国立がん研究センター	ROS1融合遺伝子陽性の進行固形がんに対する治療開発を目指した研究
16	H30	R2	藤村 篤史	岡山大学	膠芽腫におけるBNCTプレジジョン・メディシン化を実現する統合的分子基盤の創出
17	H30	R2	松本 真司	大阪大学	Arf様低分子量Gタンパク質を標的とした新規抗がん剤の研究開発

No.	開始年度	終了年度	研究代表者	所属機関	研究開発課題名
領域4 患者に優しい新規医療技術開発に関する研究					
1	H30	R2	村上 善則	東京大学	小細胞肺がんの新規診断マーカーの確立と実用化
2	H30	R2	山下 太郎	金沢大学	革新的がんバイオマーカーラミニンγ2単鎖測定による高悪性度膵がん診断の実用化研究
3	H30	R2	中本 裕士	京都大学	前立腺がん治療の最適化に向けた革新的なPET画像診断システムの構築
4	H30	R2	溝脇 尚志	京都大学	次世代Dynamic WaveArc照射法の開発と長期有効性・安全性の評価
5	H30	R2	植田 幸嗣	がん研究会	新規腎がん早期診断マーカーの体外診断薬実用化に向けた非臨床試験
6	H30	R2	飯間 麻美	京都大学	拡散MRIを用いた革新的な腫瘍診断技術の構築
7	H30	R2	川口 展子	京都大学	弾性圧迫グローブ・ストッキングによる圧迫療法の化学療法起因性末梢神経障害予防効果を検討する探索的な多施設共同ランダム化比較試験
領域5 新たな標準治療を創るための研究					
1	H30	R2	上園 保仁	東京慈恵会医科大学	外科的がん切除後のデクスメトミジンによる鎮静に不応な重症せん妄発症を予測するバイオマーカーの開発
2	H31	R2	松本 禎久	国立がん研究センター	進行がん患者に対するスクリーニングを組み合わせた看護師主導による治療早期からの専門的緩和ケア介入プログラムの臨床的有用性を検証する無作為化比較試験
3	H30	R2	神林 智寿子	新潟県立がんセンター 新潟病院	非浸潤性乳管癌(DCIS)に対する有効かつ安全な患者QOLの向上をめざした手術省略による新たな標準治療開発のための多施設共同臨床試験
4	H30	R2	北川 雄光	慶應義塾大学	臨床病期I/II/III食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験
5	H30	R2	大幸 宏幸	国立がん研究センター	切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究
6	H30	R2	北條 隆	埼玉医科大学	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究
7	H30	R2	後藤 悌	国立がん研究センター	非小細胞肺癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験
領域6 ライフステージやがんの特性に着目した重点研究					
1	H30	R2	小林 良二	札幌北楡病院	小児リンパ腫の標準的治療法の確立
2	H30	R2	村松 秀城	名古屋大学	「一過性骨髄異常増殖症(TAM)に対する化学療法および白血病発症予防法の確立を目指した第2相臨床試験」の開発
3	H30	R2	宮村 能子	大阪大学	乳児急性リンパ性白血病に対する国際共同第III相試験に向けた多施設共同臨床試験による新規治療戦略の確立研究
4	H30	R2	荒井 陽一	宮城県立がんセンター	上部尿路癌術後の膀胱内再発予防における標準治療法の確立と予後予測マーカーの開発
5	H30	R2	花井 信広	愛知県がんセンター	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験
6	H30	R2	山口 素子	三重大学	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の難治性病型に対する治療研究:フォローアップ
7	H30	R2	黒田 達夫	慶應義塾大学	小児からAYA世代頭蓋外胚細胞腫瘍の治療毒性低減を目指した国際共同臨床試験
8	H30	R2	嶋田 博之	慶應義塾大学	小児Ph染色体陽性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害薬の適正使用に関する研究開発
9	H30	R2	多賀 崇	滋賀医科大学	ダウン症合併骨髄性白血病に対する標準的治療法の確立
10	H30	R2	坂本 謙一	国立成育医療研究センター	小児および若年成人のEBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症に対するリスク別多施設共同第II相臨床試験
11	H30	R2	田村 研治	島根大学	高齢者HER2陽性進行乳癌に対するT-DM1療法とペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法のランダム化比較第III相試験
12	H30	R2	高橋 進一郎	国立がん研究センター	Borderline resectable膵癌に対する集学的治療法を用いた標準治療確立に関する研究
13	H30	R2	濱田 哲暢	国立がん研究センター	高齢者非小細胞肺がん患者に対する抗がん薬のPK/PDIに基づく個別化医療研究
14	H30	R2	山本 昇	国立がん研究センター	腎機能低下時、軽体重時におけるオシメルチニブ療法の薬物動態、用量反応関係を検討する第1相試験